

タングステン

四、八〇〇

タングステン鑛石の主要なる産地は、印度、北米合衆國、葡萄牙、濠洲、日本
本邦タングステン鑛石約四百噸

水銀

三、〇〇〇

西班牙、伊太利、埃匈國、北米合衆國
本邦約三十噸

金

六八〇

南阿(トランスヴァール)北米合衆國、濠洲、印度、墨西哥、加奈太
本邦約十一噸

ヴァナヂウム

六〇〇

南米(秘露)北米合衆國、西班牙
本邦なし

蒼鉛

五〇〇

南米(ボリビア)墨西哥、濠洲
本邦約三百二十噸

モリブデン

一〇〇

(主としてモリブデン鐵として)

モリブデン鑛石の主要なる産地は濠洲、獨逸、北米合衆國、墨西哥
本邦モリブデン鑛石約十噸

カドミウム

五〇

獨逸を主とす
本邦なし

白金

九

濠洲、露西亞、加奈太、北米合衆國
本邦なし

滿俺鑛石

二、〇六八、〇〇〇

露西亞、北米合衆國、印度、伊太利、獨逸、埃匈國、西班牙、南米(ブラジル)
本邦滿俺鑛石約一萬二千噸

石油

五、一三五、一三六

北米合衆國、露西亞、印度、墨西哥、カリシア、羅馬尼亞、日本
本邦約五百七十噸

石炭

一五一、三三〇、六一二

備考 上記の外コバルト鑛石は佛領ニューカレドニアを主とし其他濠洲、南米智利、西班牙等に産出す
北米合衆國、英吉利、獨逸、埃匈國、佛蘭西、露西亞、日本
本邦約二千百萬噸

◎製鐵業調査會答申書 (承前)

大正五年十一月二十九日製鐵業調査會決定事項

一、將來需要さるゝ鋼材品別調査の件

本邦に於ける鋼材品別需要見込額は甲號の通とす

二、標準規格制定の件

鋼質及鋼材寸法に關する標準規格を定め當業者をして準據せしむるは製鐵事業の發達上極め

て必要なりと認む本會に於て調査したる標準規格案は別紙乙號の通とす
 尙ほ鐵鋼材試驗器は度量衡と同様農商務省に於て一定の検査法を定められんことを希望す

(甲號)の一 鋼材品別需要高調 (參考資料)

大正二年 大正三年 二ヶ年平均棒、形鋼及鋼鈑需要高推算表

種 別	輸 入 額		内 地 産 額		合 計	
	數	量 %	數	量 %	數	量 %
棒、形鋼	大	四〇、一一三	二二、六	二六、〇六一	三六、一	六六、一七四
	中	四六、一〇〇	二七、六	二〇、七七二	二八、八	六六、八七二
	小	八三、七六六	四八、八	二五、三三〇	三五、一	一〇九、〇九六
小 計		一六九、九七九	六五	七二、一六三	五六、五	二四二、一四二
		二三、〇一一	二五、〇	三三、六七一	六〇、八	五六、六八二
		五五、二二七	六〇、〇	二一、三二六	三八、五	七六、五五三
鋼 鈑	厚	一三、八〇七	一五、〇	三八二	〇、七	一四、一八九
	中	九二、〇四五	三五	五五、三七九	四三、五	一四七、四二四
	薄	二六二、〇二四	一〇〇	一二七、六四二	一〇〇	三八九、六六六
合 計						

備考 入數量厚薄大小等の品別に依るものは主なる鐵商の意見を參酌して推定算出せるものなり

内地産額は製鐵所及釜石所産の合計なり

棒形鋼には軌條、繼目鈑、線材等を含ます

鋼鈑には鍍金鈑を含ます

(乙號)

鋼質規格

一、鋼材の鋼質は特に必要ある場合を除くの外左に掲ぐる鋼質規格に依るものとす

本鋼質規格以外のものは凡て之を特別鋼とし需要者と製鋼業者との特別協定に依るものとす

二、各鋼質は別に定むる試験法に依りて試験せる成績に依り之を定むるものとす
 三、鋼材には断面又は見易き部分に鋼質を識別し得へき彩色を施すものとす

第一 構成用鋼材(壓延製品)但し軌條及繼目鉄を除く

四、構成用鋼材の鋼種は之を左の通とす

構成用鋼材の種類

鋼 種

條鋼中橋梁用材、造船用材及汽罐用材

平 爐 鋼

其他の一般構成用條鋼

平 爐 鋼又は轉爐鋼

鉄鋼及鉄材

平 爐 鋼

五、構成用鋼材の鋼質を分て左の三種とす

(イ)特別極軟鋼

(ロ)極 軟 鋼

(ハ)軟 鋼

六、特別極軟鋼は抗張力毎平方時に付二十三噸以下(毎平耗約三十六疋以下)延伸百分の三十以上とす
 七、極軟鋼は抗張力毎平方時に付二十一噸以上二十六噸以下(毎平耗約三十三疋以上四十一疋以下)延伸百分の二十五以上とす

八、軟鋼は抗張力毎平方時に付二十四噸以上三十三噸以下(毎平耗約三十八疋以上五十二疋以下)延伸百分の二十以上とす

九、試料鋼材中丸鋼及角鋼の徑又は邊〇、五〇吋未滿のもの又は平鋼、形鋼及鉄鋼の厚〇、三八吋未滿又は一時以上のものに在りては其の延伸は本規格延伸率の百分の八十とす

十、軟鋼中造船用材は形鋼の場合に於ては抗張力毎平方時に付二十八噸以上三十三噸以下(毎平耗約